

武井 誠 活動報告

武井 誠 を励ます会

〒350-0253 埼玉県坂戸市北大塚 40
TEL 049-289-2527 ケイタイ 090-9854-5175
<http://www.takei-makoto.org/>
E-mail takei@sakado-gr.org

18号

- ◆「広げよう小さな輪 2014in 坂戸」
- ◆坂戸市議会定例会報告
- ◆6月、9月議会 武井誠一般質問
- ◆武井誠、秋の日程 無料法律相談案内
- ◆11/12 さよなら原発埼玉県民集会

私たちは、原発事故を忘れない

8月、福島を視察。福島第一原発のすぐ近くまで行ってきました。毎時10 μ Svまで測れる線量計が、バスの車内でも、測定不能となる高い線量でした。形容しがたい恐怖感を味わいました。原発事故はまったく収束していません。

帰路では、まもなく帰還が始まるころを通過しました。道の両側と家の周り、わずか20メートルを除染しただけで、広大な山林はそのままであるという説明を聴きました。そういう場所への帰還が始まろうとしているのです。

福島県の調査では、今年6月31日現在、104人の子どもが甲状腺がんやその疑いと判定されています。



一方、本年5月、私たち坂戸市民を中心に「郡山の子どもたちと遊ぶ会」という、市民団体が生まれました。震災・原発事故の影響で、今も不安を抱えながらの生活を余儀なくされている郡山市の子どもたちにすてきな夏休みをプレゼントしようという取り組みです。

坂戸市の全面的な協力を得て、8月2日から4泊5日、郡山市の小学生を招待し、楽しい5日間を過ごしてもらうことができました。

震災・原発事故を、他人事とは考えない。坂戸市民のあたたかい心意気が、被災地に伝わった手ごたえを感じました。



郡山の子どもたちと遊ぶ会主催、集団宿泊活動「広げよう小さな輪2014in 坂戸」@入西地域交流センター。歓迎会にはアンパンマン、バイキンマン、そして「さかっちゃん」も登場。城西大の学生ボランティア大活躍でした。

無料法律・生活・年金相談

弁護士、社労士、心理カウンセラーによる無料相談会を実施しています。どうぞご利用ください。

会場は北坂戸オルモ、13時～武井誠との市民生活相談、14時～社労士による年金相談(10月は中止)、15時～弁護士による法律相談となります(要予約)

次回は 10月18日(土)

次々回は 11月22日(土) です。

緊急の場合には、有料となりますが信頼できる弁護士事務所、社労士、税理士事務所を紹介します。詳しくは、武井誠ホームページ、又は武井まで直接お問い合わせください。(ケイタイ 090-9854-5175)

ホームページを毎日更新し、私の活動をお知らせしています。「武井誠」と入力して、**検索**をクリックしてください。ツイッター、フェイスブックからも発信中。メールマガジンも始めました(月2回配信)。

坂戸市議会定例会報告

6月、9月議会で議論になった議案のいくつかを報告します。私は問題であると考えられる議案について質疑を行う一方で、国や県で、すでに定められ、市としては、いかんともしがたいと判断したものについては、議案には賛成しました。しかし、これ以上安倍政権の暴走が続くならば、あらゆる場面で、反対の意思表示をする必要もあると考えています。

軽自動車税・障がい者医療費

軽自動車税（6月議会）は、二輪車の50cc以下が1000円から2000円、軽自動車は7200円から10800円に。障がい者医療費（9月議会）は、65歳以上で新たに重度心身障がい者となったものへの医療費助成を行わないというもの。

いずれも、社会的弱者いじめだと指摘し、質疑しました。軽自動車税については「所得の低い世帯への減免について研究する」との答弁を得ました。

自転車条例でヘルメット着用

自転車の安全な利用に関する条例は、県条例の制定に伴うものですが、坂戸市の条例と補正予算は、さらに15歳以下と65歳以上の人についてはヘルメット着用を努力義務とし、中学校の自転車通学の生徒にヘルメットを無償貸与、65歳以上の方がヘルメットを購入した場合は2000円の補助をする、というものです。

道路整備や、交通ルールの啓発・教育が先ではないか？貸与される中学生とされない中学生との間の不平等は？高齢者への半強制的なヘルメット着用というのは、いかがか？といっ

た多くの質疑があり、議員間討議にもなりました。私は、はじめ、継続審議を主張しましたが「指摘された点について直ちに検証していく」という副市長答弁があり、これを認め、結局全会一致での可決となりました。

静苑組合加入・清掃センター改修等

長年の懸案であった火葬場の問題については、9月議会で、越生に斎場のある広域静苑組合に加入することが、議決されました。

こののち、組合側の議会の議決をまって、坂戸市の負担で、炉の増設、アクセス道路の整備などの詳細設計、工事が行われていくことになる予定です。

一方、坂戸西清掃センターの長寿命化設備改良工事については、約26億円で工事請負契約を締結することについて議決しました。



施設の老朽化対策、統合・再編は、喫緊の課題です。公民館の交流センター化、コミュニティセンターを取り壊し、医師会の休日・急患診療や在宅医療・介護などのセンターに、という計画など。ご意見をお聞かせください。

解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する

意見書6対15で否決、国に提出できず

6月議会では、私を含む3議員で「解釈改憲による集団的自衛権行使容認に反対する意見書提出」を提案しました。

- ・集団的自衛権行使そのものに反対である。
 - ・戦争は絶対悪であり絶対にしてはいけない。
 - ・ありえないようなケースを議論する前に戦争を避けるための、あらゆる外交努力をするべきである。
 - ・ただ、国防については様々な考えがある。
 - ・ていねいに議論すべきである。
- それが、民主的な国家であることの証しだ。
- ・解釈改憲というのは立憲主義の破壊である。

- ・国権の最高機関である国会軽視だ。
 - ・我々は議会人である。
 - ・市議会でも、執行部に対して「議会軽視」と批判をすることが、よくある。
 - ・それは、我々が市民の代弁者だからだ。
 - ・市民は国民、市議会は国会と同じだ。
 - ・この暴挙を許すことは、我々の存在の否定だ。
- 残念ながら結果は6対14で否決でした。
- 10月3日、滑川町議会では、556人の町民の署名を背景に、「閣議決定の撤回を求める意見書」が全会一致で可決されたとのこと。私たちも、さらに頑張りましょう。

武井誠の 一般質問

6月と9月の議会で、計4項目の一般質問を行いました。6月は2015年4月から施行される「子ども・子育て新制度」「生活困窮者自立支援新制度」について。9月は「健康長寿と学校の活用について」及び「原発事故と被災地・被災者支援について」です。それぞれ、少しずつ、前進な答弁を得ることができました。

生活困窮者自立支援制度

昨年12月に公布された支援法に基づき、生活保護に至る前に生活困窮者の尊厳と主体性を重んじながら包括的、個別的な支援を行う事業が、来年4月から始まります。

窓口でのワンストップサービスから更に進んで、人に寄りそうシステムです。先進的に取り組む滋賀県野洲市の取り組みなどを紹介しながら質問し「相談窓口を庁舎内に設置する」「関係部課と協議し、縦割りではない、横断的な体制整備を図っていく」との答弁を得ました。

子ども・子育て支援新制度

新制度は、その目的が、支援の充実、保護者負担の軽減というよりも、現行の施設補助方式、自治体責任による入所・利用の仕組みを解体し、利用者補助方式、直接契約方式に変えて、企業参入を促すとともに、市町村の保育実施義務をなくし、安上がりに整備することを意図していました。

また、机上の制度設計が、現場からの問題提起によって、次々に修正、その修正が修正をよび、全体としてますます複雑さを増してしまいました。来年4月から始まるのに、国の新制度の詳細が確定せず、9月議会で関連する4議案が提案されるというあわただしさでした。担当課は大変だったと思います。

私は、先立つ6月議会で一般質問、特に、地域型小規模保育における勤務条件や、保育サービスの質の確保などに加えて、いわゆる学童保育の問題についても質問しました。

学童保育の管理運営のあり方については、現行の指定管理を、満了となる来年度もこのまま更新し、さらに保護者、運営者と連携しながら最善の道を探り続ける意向であることを確認することができました。

健康長寿と学校施設の活用

医療費は、25年前に約20兆円だったものが現在約40兆円、団塊の世代が後期高齢者となる2025年には81兆円という予測が出ています。この時の介護費用は現在の、ほぼ2倍

の21兆円です。(消費増税は、法人税減税のためではなくこのためのものだったはず!。)

ともかく「元気で長生き、健康長寿」というのは、個人の幸せな人生という側面と同時に、このような医療・介護にかかわる財政の深刻な危機を緩和するためにも、大がかりな取り組みが必要不可欠と考えるものです。

そこで、全国に必ずある小中学校を活用した高齢者介護予防の取り組みについて質問しました。現在、試行的になされているいろいろな取り組みを、まとめて、つなげて行くという提案です。今後、更に具体的な提案を続けていきたいと思えます。

原発事故の現状と被災者支援

被災地視察、被災者の方たちの声の聴取をもとに、質問をしました。

市長答弁は、「今、原発が稼働していなくても国内電力は足りている」「国の責任と負担による事故の収束と完全な賠償実施が必要」「被害者の苦労を他人事としない」「食品検査などは引き続き継続」など「脱原発を目指す首長会議」の勉強会メンバーらしい毅然とした答弁でありました。

本市在住避難者や、移住希望者の住宅問題については「相談等に応じられるよう検討する。」公共施設の利用については「同様の支援をしてまいりたい。」という答弁でした。

坂戸市議会報告会を開催

坂戸市議会として、9月議会の報告を中心に議会報告会を開催し、併せて「安心・安全のまちづくり」をテーマに、市民みなさんとの意見交換会も行います。

日時 11月15日(土)午後2時～4時

場所 浅羽野公民館 千代田公民館

※武井は千代田公民館に出席。

※議会全体としての報告なので議員個人の活動報告や意見表明は、それぞれの議員が、別に場を設けて行うことが申しあわされています。

今日までそして明日から～秋の日程～

議会以外の活動も含めた武井誠の秋の日程をまとめてお知らせします。どこかの場面で、市民みなさんとお会いできるのを楽しみにしています。お気軽に声をおかけください。

- | | |
|---|---|
| 10.09 原爆絵画展県実行委員会 | 11.02 福祉であいの広場 勝呂公民館 |
| 10.12 石上神社秋祭り | 11.03 坂戸音楽祭 文化会館ふれあ |
| 10.15 ギタークラブ訪問演奏 やまぶきの郷
※メールマガジン発信(1日、15日) | 11.04 葛川改修工事、県への要請行動
石川市長まちかど座談会 北大塚 |
| 10.16 議員研修会 | 11.06 下水道組合県外視察研修 川崎、小田原 |
| 10.18 無料法律・市民生活相談会 | 11.08 坂戸文化祭 ※9日まで |
| 10.19 連合埼玉地協クリーンキャンペーン
川越まつり | 11.09 埼玉教育研究集会 嵐山町又エック |
| 10.20 教育を語る会定例会 | 11.10 第六老社会旅行 湯田中温泉 |
| 10.21 連合埼玉首長・議員懇談会 川越 | 11.12 入間地区人権フェスティバル 飯能 |
| 10.24 人権政策確立要求知事要請行動 浦和 | 11.12 脱原発埼玉集会 浦和 |
| 10.24 原爆絵画展実行委員会 きままや | 11.14 人権教育推進協議会研究集会 嵐山町 |
| 10.25 郡山の子どもたちと遊ぶ会事務局会議 | 11.15 議会報告会 千代田公民館他 |
| 10.26 入西地域交流センター文化祭
入間教育フォーラム オルモ | 11.16 坂戸市民チャリティマラソン大会 |
| 10.31 狭山事件再審請求中央集会 日比谷 | 11.22 無料法律・年金・市民相談会 オルモ |
| | 11.26 坂戸市議会12月定例会開会(予定) |
| | 11.29 被災地支援ボランティア 南相馬市 |

2014 さよなら原発

11.12 埼玉県民集会に集まりましょう!

※17:00に埼玉県庁前からパレードを行います。

期日 2014年11月12日(水) 19時～ 場所 埼玉会館大ホール

日程 18:30 開場 18:45 アトラクション

19:00 開会 講演「大飯原発差止め判決の意義」

講師 海渡 雄一さん(脱原発弁護団全国連絡会共同代表)

報告「秩父市周辺での脱原発の取り組みについて」

報告者 ダニー・ネフセタイさん(木作家)

※坂戸市の「郡山の子どもたちと遊ぶ会」も報告予定です。

坂戸ギタークラブ デビュー

初級のクラシックギターアンサンブルを楽しむ音楽サークル。代表は私です。ゆったりやっています。入西地域交流センターの定期登録団体として隔週日曜午後、練習しています。あなたもいかがですか?

入西地域交流センターの第1回文化祭でささやかな発表会をします。

10月26日(日) 13時からです。
どうぞ、おいでください。

<編集後記>

タブレットを買い換え、それを機におそろのおそろLINE(ライン)なるものを、始めてしまいました。わからないことだらけですが、なかなか面白いし、奥が深い。無料のアプリをダウンロードすれば、メール、通話無料です。なぜそんなことが可能なのかと考えると、ちょっと不気味な感じもしますが、助かることは助かります。詳しい方、いろいろ教えてください。